

子どもたちの 未来のために

～ 郡山の明日を切り拓く！～



郡山市の原子力災害対策の取り組み



郡山市では震災以降、未来を担う子どもたちの安全と安心を第一に考え、学校や公園等の除染をはじめ、放射線からの健康管理や食の安全に関する施策、本市の元気と復興を全国にPRする活動等、原子力災害に対する様々な取り組みを実施してまいりました。

これからも、ふるさと郡山の再生と復興への歩みをより確かなものとするため、長期にわたる市民の皆さまの健康管理や住宅、道路除染等のさらなる加速化など、誰もが安心して暮らせる環境づくりのための取り組みを全力で進めてまいります。



東北のウイーン

楽都郡山



子どもたちの元気づくり

小中学生の体力向上推進事業

「日本一元気な郡山の子」構想の3本柱の一つである「体力づくり」を推進していくため、楽しみながら瞬発力、敏捷性、反射神経を養う効果が高いラダーとダブルダッチ用ロープを活用し、体力の向上を図っています。

対 象 市内の小・中学校全校



ダブルダッチ

《お問合せ》 学校管理課 TEL.024-924-3421

民間プールを活用した夏休み中の水泳機会提供事業

体力づくりの一環として、放射線の影響を懸念して学校の屋外プールを利用しない児童生徒に、民間屋内プールでの水泳の機会を提供しています。

実施期間	平成25年7月下旬より8月下旬までの夏季期間中
参加者数	市内35校、365名(1人最大3回まで、のべ826名)
場 所 等	民間の協力施設 8 施設



民間屋内プール

《お問合せ》 学校管理課 TEL.024-924-3421

屋外遊具更新事業

原発事故後、既存の遊具等での屋外活動に対する不安を解消するとともに、子どもたちの運動意欲の増進や運動習慣の定着を図り、体力を回復・向上させることを目的に、保育所、小学校や公園等の遊具更新を進めています。

対象施設 公立保育所、民間認可保育所、幼稚園、小学校、公園ほか

《お問合せ》

保育所・保育施設・幼稚園/こども育成課 TEL.024-924-3541
小・中学校/教育委員会総務課 TEL.024-924-2421 公園/公園緑地課 TEL.024-924-2361



遊具遊び(ブランコ)

湖南町の恵まれた自然環境を活かした“子どもたちに元気を届ける”取り組み

恵まれた自然環境を有している湖南地区において、教育課程に位置づけた体験学習や親子での宿泊体験活動を実施し、子どもたちの元気な笑顔を取り戻す取り組みを行っています。



水生生物調査

わくわく! 湖南移動教室

平成25年5月から10月の学校授業日
市立58小学校の全児童(約17,500人)
旧月形小、少年湖畔の村、布引風の高原、麓山等
小学校での授業に位置づけた屋外体験活動や環境学習(湖・河川等での環境学習、浜辺での砂遊び、写生教室等)

のびのび! 親子体験事業

実施時期	平成25年4月から11月 土日や夏休み期間
対 象	小・中学生とその保護者、少年団員等(約5,000人)
実施場所	少年湖畔の村、布引風の高原、麓山等
内 容	親子の絆を深める宿泊体験活動(麓山登山、湖畔サイクリング、花火等)



湖岸サイクリング

《お問合せ》 学校教育課 TEL.024-924-2431

《お問合せ》 生涯学習スポーツ課 TEL.024-924-2441

震災後子どものケアプロジェクト

郡山医師会や関係団体と連携し、子どもたちが思いっきり体を動かしたり、心と体のケアを行うイベント等に取り組んでいます。

郡山市元気な遊びのひろば『PEP Kids Koriyama』(ペップキッズこおりやま)

施設機能	ボールプール、ランニングコース、屋内砂場、食育コーナー、セミナー室等
利用対象者	未就学児童、小学生とその保護者
開設時間等	10:00~18:00(第3水曜日とその翌日及び12月29日から1月3日まで休館)1回90分の入替制
所在地等	郡山市横塚一丁目1-3 TEL.024-941-2711



ペップキッズこおりやま

子どもの遊びと運動に関する各種事業

室内運動実技講習会

子どもの発達に必要な運動と遊びに関する講演会を、支援者(幼稚園教諭、保育士など)や親子を対象に実施しています。



室内運動実技

大型遊具巡回事業

子どもの発達に必要な遊びを提供するため、市内の公民館などに大型遊具(エアトラック、サイバーホイールなど)を活用した移動式屋内遊び場を設置しています。



サイバーホイール

《お問合せ》 こども未来課 TEL.024-924-3801 こども支援課 TEL.024-924-2525



子どもたちの安全・安心と健康管理

個人積算線量の測定

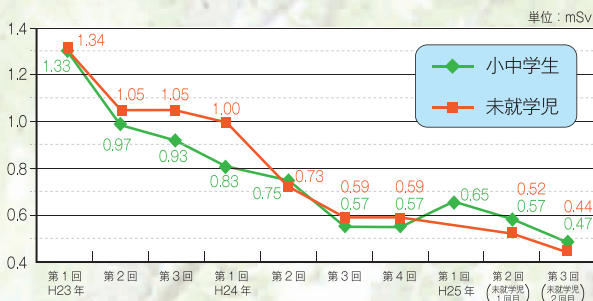
平成23年10月から中学生以下の子ども約46,000人を対象として「バッジ式積算線量計」を配付して、定期的に積算線量を測定しています。その結果、本市原子力災害対策アドバイザーから、「健康に影響を与えるような数値ではない」との専門的な知見をいただいております。

《お問合せ》

小中学生 / 学校管理課 TEL.024-924-3421	幼稚園児 / こども未来課 TEL.024-924-3801
保育所等児童 / こども育成課 TEL.024-924-3541	家庭保育児 / こども支援課 TEL.024-924-2525
高校生 / 保健所放射線健康管理課 TEL.024-924-0201	15歳以上 / 原子力災害総合対策課 TEL.024-924-4731 (高校生を除く)

《個人積算線量測定結果》

(平均値を1年間の積算量に換算した場合の推移)



甲状腺検査

先行検査(約65,000人)に引き続き、平成26年12月頃から本格検査が実施されます。小中学校等の公共施設の他、新たに県が指定する医療機関において実施されます。

《お問い合わせ》

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター TEL.024-549-5130 保健所放射線健康管理課 TEL.024-924-0201

対象範囲

- 先行検査(現状確認のための検査)
平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民
- 本格検査(平成26年12月頃)
平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査

平成26年5月から震災当時18歳以下の子どもの2回目の検査を開始します。現時点で検査結果が判明している方の生涯における内部被ばく線量は、全員1mSv未満でした。なお、平田村の震災復興支援放射能対策研究所と協定を締結し、平成25年末から1歳未満児の検査も可能となりました。

《お問い合わせ》

保健所放射線健康管理課 TEL.024-924-0201

平成26年1月末現在(累計人数)

対象	受検者数(人)
震災当時及び現在妊娠中の方	3,743
未就学児(1歳から5歳)	12,270
小中学生	27,522
高校生相当年齢の方等	8,400
震災当時17、18歳の方	1,467
合計	53,402



ホールボディカウンター

小中学校、保育所等の給食検査

国の基準値(100Bq/kg)より厳しい独自の基準値(10Bq/kg)を設定。給食センター、小・中学校の全ての自校給食校、さらには、保育所等において、給食および食材の検査を毎日行っています。

【機器設置台数】

小中学校…64台 保育所・保育施設等…52台
給食センター…4台

《お問い合わせ》

小・中学校 / 学校管理課 TEL.024-924-3421
保育所・保育施設 / こども育成課 TEL.024-924-3541 障がい児施設 / 障がい福祉課 TEL.024-924-2381



学校での給食検査



小学校の給食

学校、保育所等の除染

子どもたちの健康を第一に考え、他市町村に先駆けて校庭・園庭の表土除去に着手したほか、授業再開に向けたプール除染などを行ってきました。その後は、建物の屋上や敷地の外周部等について、きめ細やかに全面的な除染を行い、施設全体の放射線量の低減に努めております。

施設区分等	項目	平成23年度					平成24年度					平成25年度					備考			
		4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月		10月	12月	2月
小中学校	校庭等除染	[Bar]																		H23.4 ~H24.3
	プール除染 側溝・樹等除染						[Bar]													H24.4 ~H24.8
	屋上、外周部等除染 (面的除染)																			H24.7~
保育所、幼稚園、子育て支援施設等	所庭除染	[Bar]																		H23.4 ~H23.12
	側溝・樹等除染						[Bar]													H24.5 ~H24.10
	屋上、外周部等除染 (面的除染)																			H24.9 ~H25.8



学校校舎の屋上除染

《お問い合わせ》

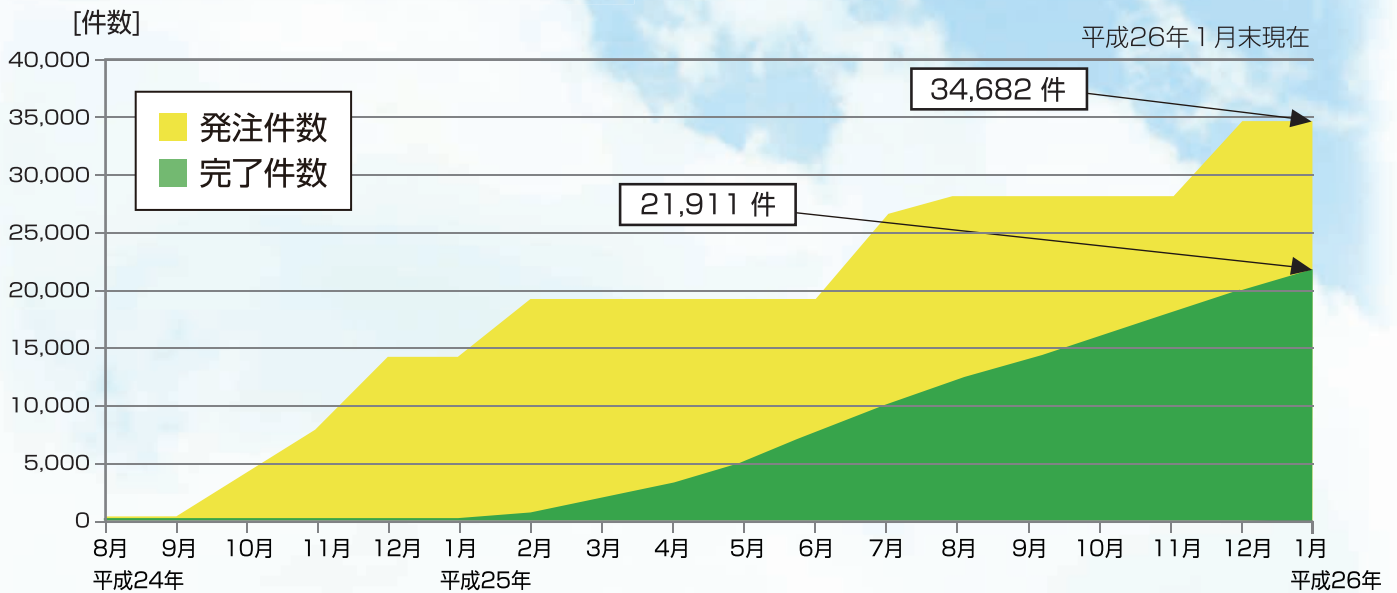
小・中学校 / 教育委員会総務課 TEL.024-924-2421
保育所・保育施設 / こども育成課 TEL.024-924-3541
幼稚園 / こども未来課 TEL.024-924-3801
子育て支援施設 / こども支援課 TEL.024-924-2525



一般住宅等除染について

市内の住宅や店舗、事務所などの除染（以下、「住宅除染」という。）につきましては、「郡山市ふるさと再生除染実施計画」に基づき、比較的放射線量の高い地区を優先させながら、平成24年度から平成27年度の4箇年で約104,200件を発注していきます。（湖南町は除く。）現在の住宅除染業務の発注状況につきましては、平成24年度までの19,141件と、平成25年度計画分約30,000件のうち15,541件、合わせて34,682件の発注を完了させ、順次、除染区域の拡大を図っているところです。今後も引き続き、今年度分の未発注分約14,500件（富田町等）を速やかに発注していくこととしており、平成26年度以降につきましても、計画的に発注してまいります。

住宅除染実施状況



道路・公園等の除染

公園やちびっこ広場等の表土除去や道路、側溝等の除染を進めています。道路除染については、当該地区の住宅除染が完了した後に発注する計画としており、現在、住宅除染が完了している池ノ台地区や菜根地区などから順次、着工しているところです。

道路・公園等	H23	H24	H25	H26以降
道路（市道）	—	2.6km	1093.5km	1985.8km
都市公園	178公園	154公園	142公園	
ちびっこ広場	252広場	32広場	126広場	
農村公園、市営住宅内公園等	28公園	17公園	—	



市道の除染作業

《お問合せ》

道路維持課 TEL.024-924-2301 公園緑地課 TEL.024-924-2361 農地林務課 TEL.024-924-2231 住宅課 TEL.024-924-2631



農地・牧草地の除染

農産物等の放射性セシウムの放射能濃度が国の定める基準値を超えないことを目指し、農地・牧草地などの除染を進めています。

農地・牧草地等	H23	H24	H25	H26以降
水田・畑	7ha	602.9ha	770ha	788ha
樹園地	38ha	27.1ha	8.9ha	—
牧草地	—	159.5ha	88.4ha	—
合計	45ha	789.5ha	867.3ha	788ha



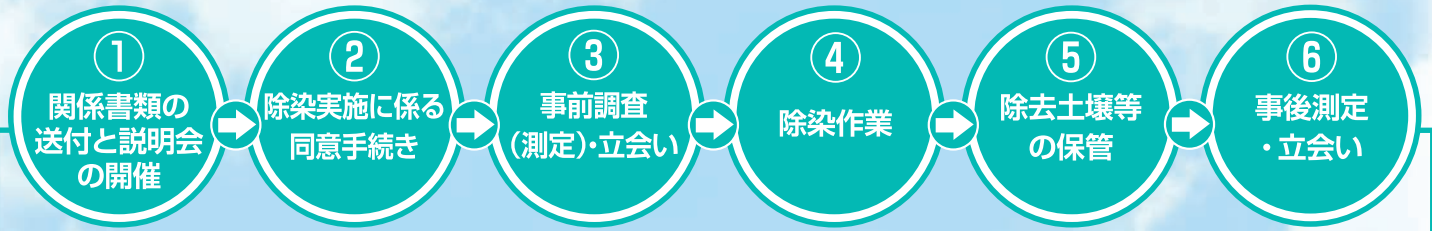
牧草地の反転耕作業

《お問合せ》

営農推進課 TEL.024-924-3761



住宅除染作業の流れ



①除染の準備が整った地区内に土地・建物をお持ちの皆さまに、一般住宅等の除染についてのお知らせや説明会の案内を送付します。除染の内容についてご理解いただくため、説明会で除染の手順や方法について詳しくご説明します。

②同意とは、除染対象となる土地・建物に係る調査・立会いや除染作業に伴う作業員の立ち入り、除去土壌の保管等に関するものであり、事前に同意をいただけた方の土地・建物について除染を実施いたします。

③除染実施前に、まず、敷地内の空間線量率の測定及び除染の進め方の打ち合わせのために、郡山市が委託した測定事業者及び除染事業者との立会いをお願いいたします。

④除染作業の主な内容は次のとおりです。



雨樋拭き取り等



庭木(常緑樹)の剪定



吸引式高圧洗浄



表土除去

⑤作業に伴い発生する除去土壌等については、次の①又は②の方法により、同意者(所有者等)の指定した場所(敷地内)に現場保管(一時保管)いたします。(原則は①の地下保管の方法になります)

① 地下保管

※敷地内に穴を掘り、地面の下に保管できる場合

遮蔽率 約98%



フレキシブルコンテナ又は遮水シート(覆土厚30cm)

② 地上保管

※敷地内に地下保管の穴が掘れない場合等

遮蔽率 約90%



除去土壌を容器に入れ良質土で遮蔽のうえシートで覆う

⑥除染実施後に、除染実施前に測定した同一箇所でも空間線量率の測定を行い、作業終了の立会い時に、測定結果をお渡しします。



住宅除染の低減実績 (平成24年10月、11月発注分の平均)

雨樋

(測点数 / 4,367 件)

表面汚染密度 (1cm)

◎除染前 → 1,447cpm 低減率
◎除染後 → 394cpm 72.8%

芝

(測点数 / 347 件)

空間線量率 (1m)

◎除染前 → 0.78 μSv/h 低減率
◎除染後 → 0.35 μSv/h 55.1%

アスファルト

(測点数 / 4,064 件)

空間線量率 (1m)

◎除染前 → 0.47 μSv/h 低減率
◎除染後 → 0.31 μSv/h 34.0%

土面

(測点数 / 7,481 件)

空間線量率 (1m)

◎除染前 → 0.67 μSv/h 低減率
◎除染後 → 0.34 μSv/h 49.3%

砂利面

(測点数 / 3,811 件)

空間線量率 (1m)

◎除染前 → 0.59 μSv/h 低減率
◎除染後 → 0.28 μSv/h 52.5%

保管場所

空間線量率 (1m)

地下保管 → 0.30 μSv/h
地上保管 → 0.35 μSv/h

コンクリート

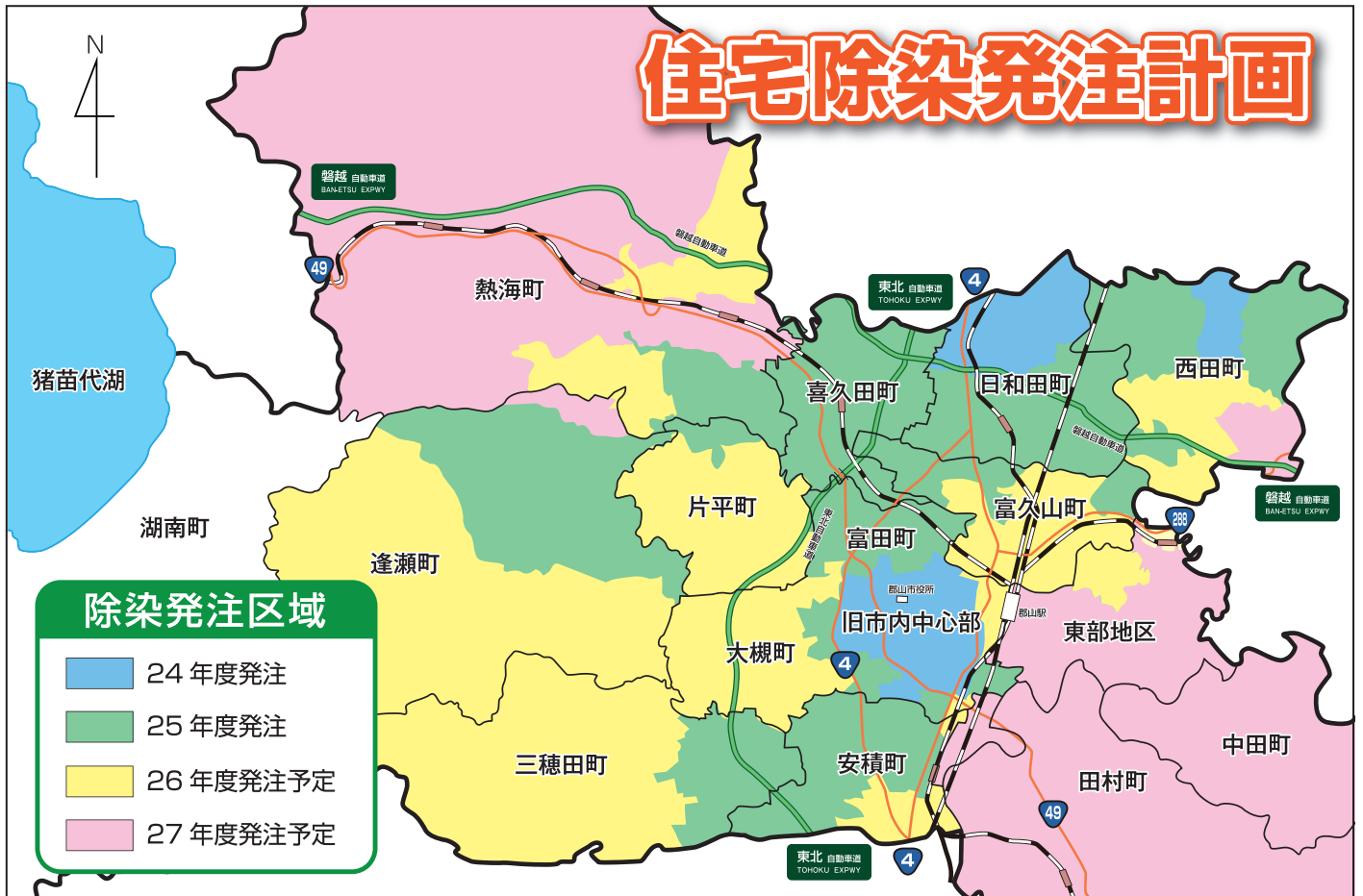
(測点数 / 7,087 件)

空間線量率 (1m)

◎除染前 → 0.42 μSv/h 低減率
◎除染後 → 0.26 μSv/h 38.1%

※雨樋については、空間放射線量(単位: μSv/h)ではなく、放射性物質による表面汚染密度(単位: cpm)を測定しています。

住宅除染発注計画



年度	町名	大字名
平成24年度 19,140件	旧市内	池ノ台、愛宕町、深沢、豊田町、細沼町、麓山、鶴見坦、開成、菜根、桑野清水台、五百漕山、五百漕西、菜根屋敷、山崎、台東、香久池、山根町、七ツ池町、台新、朝日、緑町、桑野、亀田、島、桜木、西ノ内、久留米一・二・三丁目、栄町、虎丸町、咲田、神明町、図景、長者、桃見台、堤下町、堂前町
	日和田町	高倉
	西田町	土棚
平成25年度 30,000件	旧市内・富田町 大槻町	久留米四・五・六丁目、小原田、静町、中野、菱田町、鳴神、下亀田、桑野北町、原中、小関谷地、上亀田、新屋敷、備前館、不動前、名郷田、町東、並木、亀田西、堤、柏山町、賀庄、城清水、川向、名倉、富田町、大槻町の一部
	安積町	成田、荒井、安積、吉田、牛庭、長久保、南長久保、柴宮東、成山町、笹川の一部
	三穂田町	野田、駒屋、川田
	逢瀬町	河内
	片平町	待池台
	喜久田町	全域
	日和田町	高倉以外の全域
	富久山町	八山田、堂坂、北小泉
	熱海町	下伊豆島、上伊豆島
西田町	鬼生田、大綱、高柴、丹伊田、板橋、芹沢	
平成26年度 30,000件	旧市内・大槻町	駅前、若葉町、清水台、赤木町、大町、深田台、燧田、中町、本町、大槻町（国道4号線バイパス西側全域）、御前南、うねめ町、阿久津町、希望ヶ丘、舞木町、土瓜
	安積町	南、笹川、大森町
	三穂田町	鍋山、八幡、山口、富岡、下守屋、大谷
	逢瀬町	多田野
	片平町	待池台以外の全域
	富久山町	八山田一丁目～七丁目、久保田、南小泉、福原
	熱海町	玉川、長橋
	西田町	根木屋、木村、三丁目
平成27年度 25,000件	旧市内	松木町、谷島町、方八町、芳賀、向河原町、東宿、横塚、古川、道場、榎ノ木、昭和、下館野、古屋敷、佐野良、八作内、八木橋、北畑、石淵町、石塚、あぶくま台、安原町、横川町、下白岩町、蒲倉町、白岩町、外河原、船場向、大河原、十貫河原、上野山、水門町、大平町、緑ヶ丘西、荒井町、緑ヶ丘東
	安積町	笹川一・二・三丁目、日出山
	逢瀬町	夏出
	熱海町	安子島、熱海、中山、石筵、高玉
	田村町	全域
	西田町	大田
中田町	全域	

原子力災害対策アドバイザーから

本市では、放射性物質の除染や健康管理等について、専門的な知見から多角的に助言をいただくため、「郡山市原子力災害対策アドバイザー」を委嘱しています。これまで、除染計画の策定や子どもたちの屋外活動制限等、さまざまな放射線対策についてご意見をいただいたほか、放射線についての知識の普及啓発を目的とした各種講演会を開催するなど、市民の皆さまの安全・安心の確保へ向けた活動を進めております。

おおくほ としてる

大久保 利晃氏 ・公益財団法人 放射線影響研究所 理事長

放射線の人体に及ぼす医学的影響及びこれによる疾病を研究し、被ばくした方の健康維持及び福祉に貢献している。

放射線に関する情報の錯綜に困惑されていると思いますが、人類は太古より自然放射線と共存してきており、生涯に受ける総量は 100 ミリシーベルトを超えています。問題はこれに加わる原子爆弾や医療などによる人工的被曝で、この値が 100~200 ミリシーベルトを超えると、被曝線量に応じてがんが次第に増えることです。これ以下で増えるという報告はまだありません。報道等で飛び交っている 1 ミリシーベルトや 20 ミリシーベルトという数値は、除染や職業被曝を減らす作業目的値です。この区別が今後の対応でお役に立てば幸いです。



さなだ ひろお

真田 宏夫氏 ・国立大学法人 千葉大学名誉教授

食品栄養学の分野において大学で授業を担当されるとともに、同大学で放射線取扱主任、アイソトープ実験施設長を務めていた。

郡山市の環境の放射能汚染状況は全体的に順調に正常化に向かっており、農水産物等の放射能濃度もそれに伴って低下してきております。現在はチェック体制もあり、市販食品については問題のない状況にあると思います。しかし、山菜、イノシシ、魚などの野生動植物についてはまだ基準値を超える場合があり、引き続き注意が必要と考えます。現状での市民の健康への汚染放射能の影響は、あったとしても運動不足、肥満、食塩過剰摂取、その他の生活習慣が原因の健康影響と同程度と推定されます。放射能汚染を気にして、偏食や運動不足にならないように注意する必要があると思います。



とみた さとる

富田 悟氏 ・国立大学法人 東京工業大学 放射線総合センター 助教

大学で放射線の安全管理・教育訓練を行うとともに、放射性同位元素等の使用法及び管理に関する研究開発をしている。

福島で起きた事故の影響は、不安や社会・家族の崩壊という形で未だに多くの人々を苦しめています。一方、今回の被ばく状況における放射線のリスクは、今までの環境汚染と異なり、その原因は日常生活のリスクと共通する部分が特徴的です。低線量と高線量、低線量率と高線量率を区別し、科学的な考え方にに基づき、合理的にリスクを低減して身体的および社会的に健全な生活を取り戻す手助けができれば幸いです。可能であれば皆様と一緒に測定や除染などを実施して、安全の確保や安心の獲得に参加できればと思っています。



おおが かずひろ

太神 和廣氏 ・社団法人 郡山医師会 理事

昭和 48 年から小児医療に携わり、昭和 60 年から本市にて小児医療の牽引役を務めている。

私は原子力災害対策アドバイザーのメンバーの中では放射線・環境汚染などの専門家ではありませんが、郡山市民の一人として、また医師として小児医療・地域医療に関わってきた立場から今回の災害で一般市民の方々が蒙った（あるいは今後の）影響について考え続けております。特に放射線被ばくが子どもたちに与える直接、間接の健康影響の可能性については、皆様方それぞれに心配や不安があると思いますので、その面で行政および市民のかたにアドバイスできればと思っています。



なかにし じゅんこ

中西 準子氏 ・独立行政法人 産業技術総合研究所 フェロー

環境リスク管理学の分野における環境リスク論の立場から、放射能汚染との向き合い方や除染方法について研究、情報発信を行っている。

昨年の 9 月から原子力災害対策アドバイザーになりました。郡山については新米で、計測値や検査データを見るだけでなく、除染現場や廃棄物物理め立て地、減容化施設の見学など、現場学を実施中です。私の専門はリスク評価研究で、隠れて見えにくい健康影響や環境影響の大きさを定量化して比較をすることです。これまで、主に国の直轄事業地域での除染の効果や費用について調べ、新聞やテレビなどでも意見を述べてきました。これらの経験を生かして、郡山の問題解決に努力したいと思っています。



市長との意見交換



住宅除染現場視察



保育所保護者向け講演会



原子力災害対策トピックス

①除染情報ステーションを開設しました

住宅除染について、大型タッチパネルを用いて、その計画や進捗状況等について市民の皆さまに分かりやすく情報を発信する「除染情報ステーション」を設置しています。場所は、市役所本庁舎 1 階の市民ホール内にあり、住宅除染の流れをパネルで説明したり、放射線量測定器の展示なども行ってまいりますので、ぜひご利用ください。展示している内容は、郡山市ウェブサイトでもご覧いただけます。

郡山市 除染情報ステーション

検索

《お問合せ》原子力災害総合対策課 TEL.024-924-4731

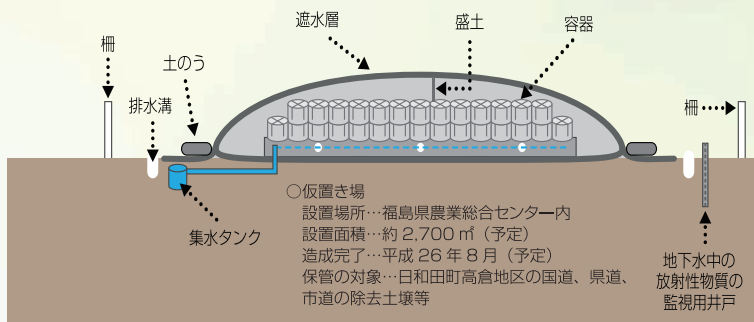


市役所本庁舎1階に設置

②仮置場を設置

日和田町高倉地区の市道、県道や国道の除染で発生する除去土壌等を保管するため、仮置場を設置します。今後も、国・県などと協議を継続しながら、市有地・民有地についても、積極的な活用を検討していきます。また、これまで現場保管に活用していた市の公園などに加え、新たに市役所本庁舎駐車場および開成山陸上競技場北側駐車場も活用します。

仮置場イメージ図 (出典：環境省「除染関係ガイドライン」)



《お問合せ》原子力災害総合対策課 TEL.024-924-4731
道路維持課 TEL.024-924-2301

③線量計の貸出、個人宅の放射線量測定と食品持ち込み検査

生活空間における放射線量や積算被ばく量を測定し、市民の皆さんの不安を解消するため、放射線の測定機器などの貸し出しを実施しています。

食品に対する不安を解消するため、身近な施設に放射能簡易測定装置を設置し、市民の皆さんが持ち込む食品の放射性物質の検査をしています。※事前に申込が必要です。

内 容	窓	口
個人宅の放射線量測定	(電話受付専用)	TEL.024-924-5400
個人へのサーベイメータの貸出	市役所分庁舎1階	TEL.024-924-0071
個人への電子式積算線量計の貸出	市役所分庁舎1階	TEL.024-924-0071
妊娠中の方への電子式積算線量計の貸出	ニコニコ子ども館1階	TEL.024-924-2525
町内会向けサーベイメータの配備	原子力災害総合対策課	TEL.024-924-4731

実施施設(市内43か所)	開設時間
各行政センター・各地域公民館(39か所)	平日 8:30~17:15
市民交流プラザ(ビッグアイ7F)	水~日 10:00~18:45
ニコニコ子ども館	毎日 8:30~17:15(第3土日休み)
ペップキッズこおりやま	平日 10:00~17:45(第3水・木休み)
総合地方卸売市場	平日 8:30~17:15

《お問合せ》保健所放射線健康管理課 TEL.024-924-0201

④本市からの避難者への情報提供

本市から自主的に避難されている方々に対して、「広報こおりやま」などの各種市政情報について、定期的に提供しております。また、県外で開催されている避難者交流会等には職員を派遣して、本市の原子力災害に対する取り組みの現状等を説明しているほか、避難されている方からの各種相談も受け付けております。

《お問合せ》総務課 TEL.024-924-2031



避難者交流会

⑤放射線量モニタリングマップ等

小中学校、保育所や公園など、市内 2,055 か所で放射線量を定期的に測定し、郡山市ウェブサイト上で公開しています。水道水や農産物、食品等の検査結果も公表しています。

郡山市 放射線モニタリングマップ

検索

《お問合せ》原子力災害総合対策課 TEL.024-924-4731



◎発行：平成26年2月 ◎編集：生活環境部原子力災害総合対策課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号 TEL.024-924-4731 FAX.024-924-3702

■ E-mail: genshiryokusaigai@city.koriyama.fukushima.jp

■ 郡山市ウェブサイト http://www.city.koriyama.fukushima.jp



植物油インキを使用して印刷しています

紙へリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクル出来ます。